



給食室だより

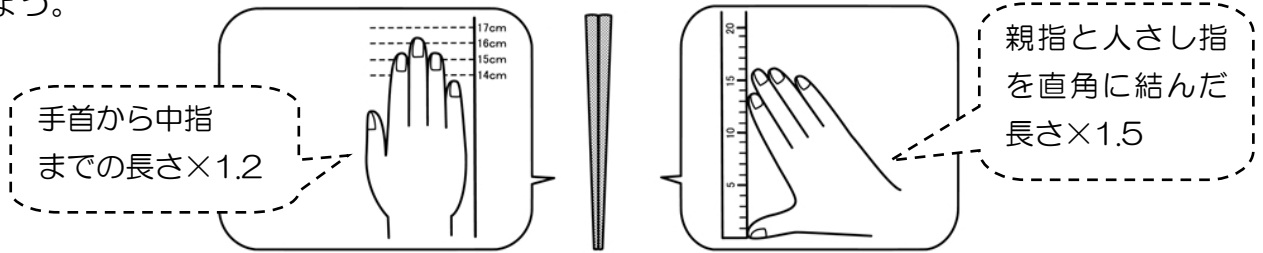


令和3年度
中山保育園

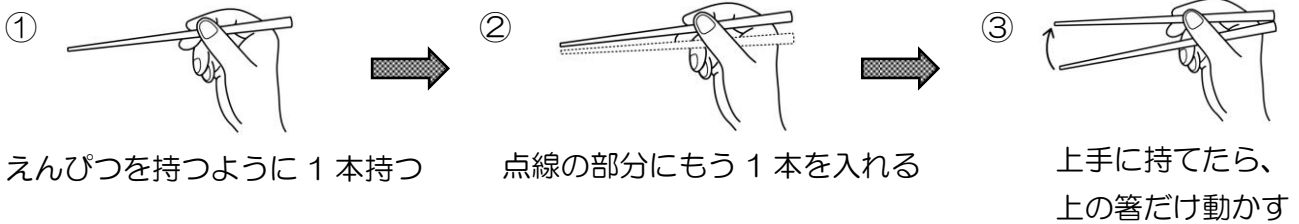
箸とマナー

箸の選び方

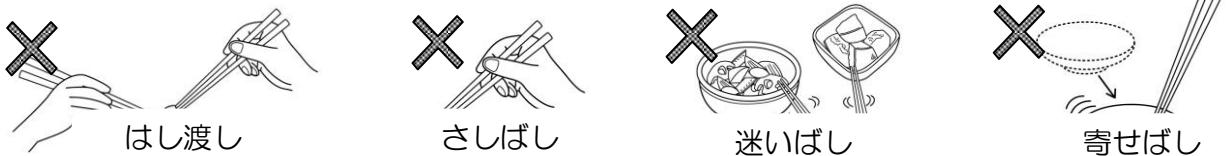
スプーンをペンを持つような持ち方で上手に使えるようになってきていることが、箸を使うことの前段階です。箸は長すぎても短すぎても使いにくいので、自分の手に合った箸を選ぶとよいでしょう。



確認しよう！箸の持ちかた



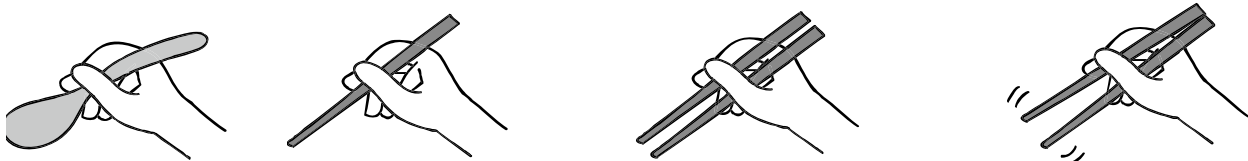
知っていますか？箸づかいのタブー



子どもに上手な箸の持ち方やマナーを伝えながら、大人も一緒に確認してみるとよいですね。

・お箸の練習は急がずゆっくり進めましょう

お箸を上手に使うためには、お箸の練習をスタートさせる時期がポイント。離乳期の「手づかみ食べ」で手指、腕、口の協調運動ができたなら、スプーン、フォークに進み、その後スプーンの鉛筆持ちができるようになってからお箸の練習をはじめると、スムーズに正しく使うことができます。



- ① 薬指と親指の根元で、一本のお箸を持ちます。(しっかりと固定する！)
- ② 上のお箸を親指、人差し指、中指の三本で持ちます。
- ③ 中指と人差し指で、上のお箸だけを動かし、お箸を開いたり閉じたりして物を掴みます。